

令和3年度行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	経済産業省基盤情報システムの整備及び運用 (情報通信技術調達等適正・効率化推進費)			担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者			
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	情報通信技術(IT)総合戦略室		内閣参事官 吉田 宏平	内閣参事官 奥田 直彦		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画(閣議決定)」(令和元年6月14日閣議決定) 「経済産業省デジタル・ガバメント中長期計画」(令和2年3月30日)					
主要政策・施策	IT戦略			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	経済産業省が、情報提供をはじめとする国民へのサービスを確実に実施し、円滑に行政事務を遂行するため、その基盤となる安全で、安定的、効率的なITシステムを整備する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ITが広く普及する現在において、情報提供をはじめとする国民へのサービスを確実に実施するためには、行政機関としてIT基盤を整備することが不可欠である。また、行政事務を円滑かつ効率的に実施する上でも、ITの活用が重要である。このため、本事業では、行政事務及び国民へのサービス提供を行うための基盤となる情報システムについて、セキュリティ面を含めた安定性を確保し、効率性の高いITインフラを構築、運用する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	0	0	0	0		
	執行額		-	-	-	-	-			
	執行率(%)		-	-	-	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由						
	-	-	-							
	計	-	-							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	セキュリティ対策を含め、システムを安定的に移動する。	システムの主要機能の正常稼働率	成果実績	%	-	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	99.9	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	基盤情報システムサービス仕様書									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	情報システム数を平成24年度(104システム)比で半減を維持する。	平成24年度比システム削減数	成果実績	システム削減数	-	-	-	-	-	
			目標値	システム削減数	-	-	-	-	52	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	政府情報システム改革ロードマップ、経済産業省デジタル・ガバメント中長期計画									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
				活動実績	-	-	-	-	-	-
				当初見込み	-	-	-	-	-	-
単位当たり コスト	算出根拠				単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
				単位当たり コスト	-	-	-	-	-	
				計算式	-	-	-	-	-	

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	(経済産業省政策)2. 産業育成										
	施策	2-2 データ活用										
	政策評価	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
				実績値	-	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-		
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)							
					施策の進捗状況(実績)							
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	本事業により、効率的かつ安全な情報システムの整備を行い、「世界最高水準のIT社会の実現」に貢献する。											
	新経済・財政再生計画改革工程表 2020	取組事項	分野:	-								
(第一階層) KPI		KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明									
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	行政事務の円滑な遂行により、国民が必要とするサービス提供を行うために、情報システムの整備は不可欠である。									
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	経済産業省自らの行政事務の基盤となるシステムであり、情報セキュリティの観点からも自ら実施する必要がある。									
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国民へのサービス提供にシステム整備は不可欠であり、優先度は高い。									
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-										
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。											
	競争性のない随意契約となったものはないか。											
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-										
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-										
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-										
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-										
	利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-										
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-											
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-										
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-										
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-										
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-										
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-											

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	-	
	改善の方向性	-	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
終了予定	次年度予算計上省庁において、適切な執行に努めるとともに効率的に執行した実績を、概算要求に反映させること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
予定終了通り	デジタル庁(R3.9~)において、引き続き、適切な執行に努める。		
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年度	経済産業省 (227)		
平成23年度	経済産業省 (272)		
平成24年度	経済産業省 (272)		
平成25年度	経済産業省 (629)		
平成26年度	経済産業省 (128)		
平成27年度	経済産業省 (93)		
平成28年度	経済産業省 (68)		
平成29年度	経済産業省 (61)		
平成30年度	経済産業省 (54)		
令和元年度	経済産業省 - 0054		
令和2年度	経済産業省 - 0057		
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。		
	<pre> graph TD A[内閣官房] -- "(予算の移管)" --> B[経済産業省] B --> C["A. 経済産業局"] B --> D["B. 民間企業等"] C --- E["(経済産業局における基盤情報システムの運用、セキュリティの確保等)"] D --- F["(基盤情報システム等各システムの借料、運用経費等)"] </pre>		